

2021年8月26日

東日本支部会員 各位

一般社団法人日本自動車部品工業会
東日本支部

講演会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、支部活動へご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度第5回目の講演会は「カーボンプライシング」をテーマとして開催致します。

昨年10月に菅総理が温室効果ガス排出「2050年実質ゼロ」を目指すことを宣言し、カーボンプライシング導入への議論が加速しています。今回は、カーボンプライシングの国内外の最新動向と企業ビジネスへの影響についてご講演いただきます。

業務ご多忙の中、誠に恐縮に存じますが、会員企業の皆様方にご参加を賜りますようご案内申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時：2021年10月28日（木） 15:00～16:30

2. 形 式：Webセミナー（Zoomのウェビナーを使ったライブ配信セミナー）

3. 演 題：『カーボンプライシング後の未来を展望する
～2050年実質ゼロに備えよ～』

講 師：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
環境エネルギー第1部 地球環境チーム 課長 元木 悠子 様

4. 申込期限：10月20日（水）まで

5. 申込フォーム：<https://www.japia.or.jp/kouenkai18/>

6. 定員：500名

※10月26日（火）までに受講用URLを送信しますので、
当日URLをクリックし受講下さい。

7. お問い合わせまたは連絡先：

一般社団法人日本自動車部品工業会 東日本支部 加藤
TEL 03-3445-4212 メール：kato-yosuke@japia.or.jp

「講演会」次第

2021年10月28日（木）15：00～16：30
自動車部品会館 6F

一般社団法人日本自動車部品工業会
東日本支部

1. 講演（15：00～16：15）

テーマ：『カーボンプライシング後の未来を展望する
～2050年実質ゼロに備えよ～』

<講演概要>

菅総理は、2020年10月に温室効果ガス排出実質ゼロを宣言し、2021年1月の施政方針演説で成長につながるカーボンプライシングに取り組んでいくことを宣言した。これを受けて、環境省や経済産業省では、カーボンプライシングの導入を巡って議論を続けている。本講演では、世界のカーボンプライシング（炭素税、排出量取引制度、国境調整措置等）の導入状況、日本における導入見通し、クレジット制度等の関連する制度動向も含め整理を行う。加えて、投資家の動きや、ビジネスチャンスやリスク回避の視点で取り組む企業の先進事例等について紹介する。

・講師：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
環境エネルギー第1部 地球環境チーム

課長 元木悠子 様

<講師略歴>

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了（博士（政策・メディア））
2008年みずほ情報総研株式会社（現みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社）入社。国立環境研究所や産業技術総合研究所の業務で、アジア太平洋地域統合評価モデル（AIM）やMARKAL（Market Allocation）モデルを用いた中長期エネルギー需給分析、気候変動緩和策の定量評価を実施。また、環境省業務で、税制グリーン化やカーボンプライシングの調査分析、「中央環境審議会カーボンプライシングの活用に関する小委員会」や「カーボンプライシングのあり方に関する検討会」の運営を支援。

2. 質疑応答（16：15～16：30）

以上